

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	尚生こども園			
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～	令和7年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～	令和7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月12日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小規模ではあるが一人一人に目が行き届き、家族支援を含めて丁寧に行われていること。	季節ごとの催しや行事等を通して体験や地域との交流を意識的に取り入れている。	小学校低学年から高校生まで幅広く利用していただいているが、その年齢に応じた創作活動の見直しを図る。
2	市役所や児童相談所、学校等との関係機関と連携が図られ適宜個別ケース検討会議が開かれている。	普段から利用者様をよく観察しその言動等その都度、気づきを職員で共有している。そして、その情報を個別ケース検討会議に生かしている。	些細なことでも気づきがあったら職員で共有しながら関係機関にも適宜連絡するようにする。
3	学校や自宅へのお迎えだけでなく、自宅へ送り届けることで園での様子などをご家族に伝え信頼関係を深めている。	保護者様とのやり取りは、連絡帳の他に創作物を持って帰らせ玄関先で話題にしたりしてコミュニケーションを意識的に取っている。	送迎に関しては安全運転の徹底を全職員が心掛け、保護者様や利用者様が安心して利用していただけるように取組んでいきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多機能型事業所の利点をもっとアピールしなければならないところ。	保護者様との定期的な面談を通して、特に将来的な就労についての話題提供が不足していた点。	利用者様本人や保護者様に対しては、多機能型事業所の利点を理解していただき、就労継続B型事業における実地経験や体験ができる点をアピールしていく。
2			
3			